

市の発展に貢献された4氏を表彰

功労者表彰

農業の振興

田中 専一さん (71)



稲作を主体とした農業に従事されるとともに、平成15年から平成30年まで、かづの農業協同組合理事として農協経営に携わり、そのうち平成21年からは代表理事組合長として、本市の地域農業の発展に貢献されました。

農業情勢が大きな変革期を迎えている中、鹿角のブランド作物である「北限の桃」や「淡雪こまち」の付および販売拡大を図り、組合員の所得向上に資する技術研修などにも積極的に取り組まれました。

また、J A 出資型農業生産法人の設立や産直センターのオープンなど、農業環境の変化を見通した組織・事業・経営の革新を図り、農家が安心して営農できる環境づくりに尽力されました。

文化功労者表彰

保健医療の向上

故 小笠原 武さん (享年74)



昭和62年から小笠原医院の院長として、地域における医療の充実と住民の生活環境の向上に大きく寄与されました。

平成2年から平成30年まで、十和田中学校の学校医として、生徒および職員の健康管理や疾病予防に尽力されました。

また、平成11年から平成28年まで、鹿角市保健センター運営委員を務め、本市の保健衛生事業の推進にも貢献されました。

このほか、平成18年からは鹿角市鹿角郡医師会会長、平成23年からは秋田県学校保健連合会鹿角学校保健会会長に就任され、地域の医療・保健・福祉分野の連携のもと、学校保健・地域医療の充実のために尽力されました。

一般表彰

社会福祉の向上

児玉 賢一さん (70)



平成6年から平成28年までの長きにわたり、花輪地区主任児童委員として、各地区担当の児童委員に対する援助および協力を行い、また、児童福祉機関との連携のもと、子どもや子育て家庭への支援や児童健全育成活動に尽力され、社会福祉の向上に大きく貢献されました。

こうした功績が高く評価され、平成24年に全国民生委員児童委員連合会表彰、平成26年に秋田県知事表彰を受賞されています。

また、平成7年から現在に至るまで、保護司として保護観察を要する人たちの社会復帰のため、親身になって対話や指導を行い、更生を支援するなど、犯罪の無い地域づくりにも尽力されております。

一般表彰

教育文化・社会福祉の向上

櫻田 守宏さん (79)



平成16年から平成29年まで鹿角市文化財保護審議会委員として、市内の文化財の保存と活用を努めるとともに、調査員、主任調査員としても文化財調査資料の作成に尽力され、本市の文化財保護に貢献されました。

また、鹿角市文化財保護協会事務局長、会長を歴任し、市内文化財の調査研究、機関誌の発行、研修会の開催などに精力的に取り組まれました。

このほか、平成24年以降、八幡平地区老人クラブ連合会会長、鹿角市老人クラブ連合会会長、秋田県老人クラブ連合会理事などの要職を歴任し、老人クラブ活動の中心となって、高齢者が活力をもって生活できる地域づくりに尽力されました。

※「功労者表彰」市の公益及び振興発展に尽力し、その功労が著しい方
※「文化功労者表彰」本市の文化の向上発展に貢献したその功績が卓絶であった方
※「一般表彰」産業または経済の振興、保健衛生の向上などに関し、著しい功労のあった方

功労者表彰1氏、文化功労者表彰1氏(追彰)、一般表彰2氏が受賞